

ふくい街角景気速報

(令和5年5月分)

調査期間 令和5年5月19日～26日 (回答率：91%)

概況

景気の現状判断DIは53.6となり、前月と比べ1.7ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは53.3となり、前月と比べ1.1ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 53.6 (前月比 +1.7)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.5 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

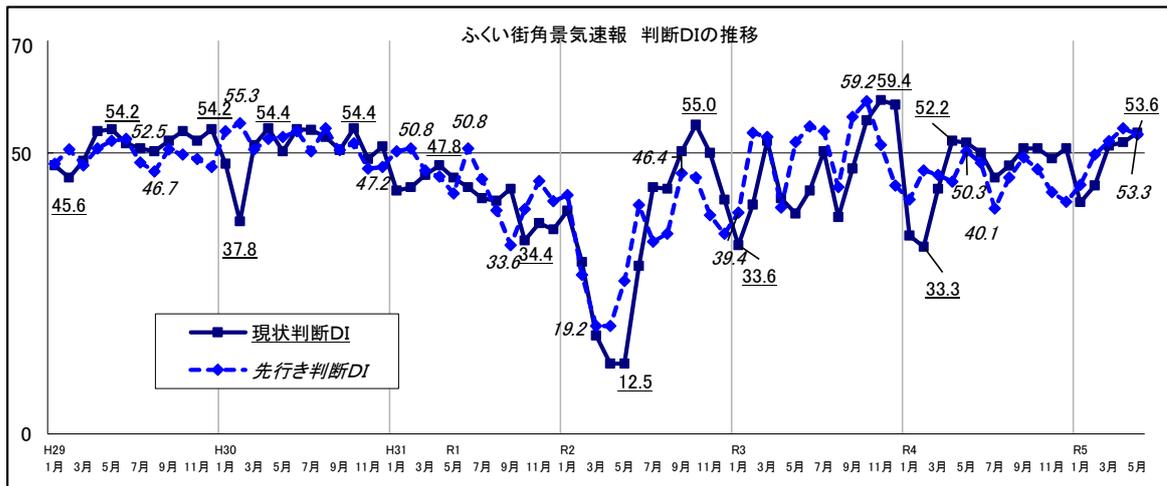
- コロナ5類移行で娯楽などの非日常の消費は増えているようであるが、日常生活の部分は値上げ等の影響で消費は慎重な様子。(スーパー)
- 物価上昇の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う感染対策の緩和や、大型連休などで人流の増加を伴いながら対面型サービスを中心に回復傾向にある。(銀行等金融関連)

■景気の先行き判断DI 53.3 (前月比 ▲1.1)

- 家計動向関連では、前月に比べ 2.2 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 1.5 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 4.2 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 物価の上昇、電気代のUP等々で財布のひもが固い印象がある。(商店街)
- 電気料金の値上げや原材料価格の高騰による価格転嫁が十分に進まないなど、圧迫した状況が続くと懸念される。(化学・プラスチック関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	12	R5 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		50.8	41.2	44.2	51.3	51.9	53.6	+1.7
家計動向関連		53.9	39.3	44.3	53.1	49.4	53.3	+3.9
小売		47.4	39.5	41.9	49.2	43.1	48.3	+5.2
飲食		75.0	33.3	41.7	70.0	75.0	75.0	+0.0
サービス		61.4	41.7	52.3	56.8	56.3	56.8	+0.5
企業動向関連		50.0	41.7	41.7	47.9	52.3	50.8	▲1.5
製造業		53.0	41.3	40.4	48.0	53.1	50.0	▲3.1
非製造業		42.5	42.5	45.0	47.5	50.0	52.8	+2.8
雇用関連		41.7	47.9	52.3	54.2	60.4	62.5	+2.1

○回答別構成比

	年 月	12	R5 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなっている		5.4%	0.0%	1.1%	2.1%	4.4%	1.1%	▲3.3
やや良くなっている		23.9%	14.4%	18.9%	28.4%	27.8%	34.1%	+6.3
変わらない		41.3%	44.3%	41.1%	46.3%	42.2%	44.0%	+1.8
やや悪くなっている		27.2%	33.0%	33.7%	18.9%	22.2%	19.8%	▲2.4
悪くなっている		2.2%	8.2%	5.3%	4.2%	3.3%	1.1%	▲2.2

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	12	R5 1	2	3	4	5	(前月差)
合計		41.3	44.3	49.7	52.1	54.4	53.3	▲1.1
家計動向関連		40.0	46.9	51.0	52.1	54.4	52.2	▲2.2
小売		35.3	45.2	45.2	50.0	52.6	48.3	▲4.3
飲食		60.0	45.8	54.2	60.0	75.0	60.0	▲15.0
サービス		43.2	52.1	65.9	54.5	52.1	59.1	+7.0
企業動向関連		43.6	40.3	47.9	50.7	52.3	50.8	▲1.5
製造業		43.0	40.4	45.2	50.0	51.0	47.9	▲3.1
非製造業		45.0	40.0	55.0	52.5	55.6	58.3	+2.7
雇用関連		39.6	45.8	50.0	56.3	60.4	64.6	+4.2

○回答別構成比

	年 月	12	R5 1	2	3	4	5	(前月差)
良くなる		2.2%	0.0%	2.1%	4.2%	4.4%	4.4%	+0.0
やや良くなる		8.7%	20.6%	33.7%	33.7%	30.0%	27.5%	▲2.5
変わらない		47.8%	41.2%	32.6%	30.5%	47.8%	48.4%	+0.6
やや悪くなる		34.8%	33.0%	24.2%	29.5%	14.4%	16.5%	+2.1
悪くなる		6.5%	5.2%	7.4%	2.1%	3.3%	3.3%	+0.0

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談からの推測は難しいが、3ヵ月前より相談内容が異なり、賃金引上げ関連が多くなってきたことから、景気が回復していると判断した。	
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	人の動きも出て来て、あきらかに良く感じる。ただし、駅前の再開発工事等で少し遠のく感もある。	
		奥越	一般小売店	コロナ収束により人の動き・移動が活発になってきた。	
		福井	家電販売店	コロナの5類移行が要因か分からないが、客数が回復してきている。	
		奥越	飲食関連	コロナも5類に変わり、外出する人が増えたから。	
		福井	観光関係	4月以降、コロナ前の75%まで回復している感覚がある。しかしながら、エネルギーコストや原材料の高騰が大きく影響し、業績自体は芳しくない。	
	企業動向	丹南	電気機械関連	スポット的な受注もあるが、受注が少し回復してきているため。	
		丹南	伝統工芸関連	受注が多くなった。	
		福井	銀行等金融関連	物価上昇の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う感染対策の緩和や、大型連休などで人流の増加を伴いながら対面型サービスを中心に回復傾向にある。	
	雇用	嶺南	学校就職担当者	多くの業界が売り手市場のため。	
③変わらない	家計動向	丹南	商店街	良くはなっていないという意味で、変わらないという状況。	
		福井	百貨店、SC等	コロナ禍が明けて世の中的には明るい兆し、旅行やイベントの復活などで上向きではあるが、北電の電気代高騰、物価高により、依然として状況が変わらない。	
		坂井	スーパー	コロナ5類移行で娯楽などの非日常の消費は増えているようであるが、日常生活の部分は値上げ等の影響で消費は慎重な様子。	
		福井	サービス業関連	株価は上がっているが、光熱費の高騰がどのような影響になるか心配。	
	企業動向	坂井	繊維関連	好転している事も出て来ているが、電力の値上等、まだ原料高騰等も続いているため。	
		奥越	電気機械関連	受注増加が見られない。	
		福井	化学・プラスチック関連	原材料やエネルギー価格が高止まりが引き続き、状況は大きく変わらないと思われる。	
		福井	運輸関連	売上が横ばいで推移しているため。	
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	全体的にコロナ感染も落ち着き、また5類感染症への移行もあり、消費行動は従来の動きに戻りつつある。しかし様々な物価や電気代などが高騰し費用も増えているため、なかなか利益アップには繋がらない。	
		福井	学校就職担当者	高校生の就職に関し企業を廻っているが、製造系の求人はあるが事務系が少ないようである。	
		嶺南	ジョブカフェ担当者	有効求人倍率の動向は同様に2月から3月に向けて減少傾向にある。また、有効求人数と有効求職者数をとみに比較すると、昨年同時期を上回っており、コロナ禍の影響が落ち着いてきた為の変化ではないかと思われる。	
	④やや悪くなっている	家計動向	福井	一般小売店	巣ごもり需要が一服したのか、家財を購入する客数が減少している。
			奥越	百貨店、SC等	電気代の高騰のニュースによりお財布のひもが固くなっているのか、若干マイナス傾向。
福井			コンビニエンスストア	GWは当月に入って盛り上がりを見せるも、コロナ景気対策キャンペーン効果も減少し、平均的に落ち着いてしまっている。	
福井			サービス業関連	今月の新車の受注状況の低迷からの判断。	
企業動向		福井	繊維関連	今は受注あるが、量は5月に入って減ってきている。	
		福井	商社	石油製品の需要は増えず、経費高騰の価格転嫁も出来ていない。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	坂井	観光関係	コロナが5類に移行し、GW明けの感染状況も拡大していないことから、徐々にコロナ前に戻ってくると思われる。
②やや良くなる	家計動向	嶺南	一般小売店	電気代の高騰など物価が上がっているが、夏に向け行動範囲も広がり消費につながると思う。
		福井	百貨店、SC等	夏のレジャーや行楽における日常が戻り、良い面の方が多くなる気がする。
		福井	コンビニエンスストア	本年度の夏休み繁忙期間は、大いに盛り上がることを予想する。
		福井	観光関係	旅行支援が終わる7/20と入れ替わるような感じで、夏休みが始まると恐竜博物館がリニューアルオープンする。プラス・マイナスとどう転ぶかは不明だが好転に期待している。
	企業動向	嶺南	商社	コロナ5類による経済活動の活発化が更に期待できるため。
		福井	銀行等金融関連	コロナ5類変更を受け、経済社会活動の正常化に向けた動きが加速すると期待され、対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが続くと思われる。一方、家庭向け電気料金の値上げが消費や生産に与える影響についての注視が必要。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	原材料やエネルギー価格の高騰に影響を受ける業界もあるが、しばらく売り手市場は変わらないと思われるため。
③変わらない	家計動向	福井	商店街	物価の上昇、電気代のUP等で財布のひもが固い印象がある。
		丹南	商店街	来月からの電気料金の値上げなど諸物価の値上げが続いていて、消費マインドは引き続き低迷したままだと思うから。
		福井	百貨店、SC等	ウクライナ侵攻が長期化、北電の家庭向け電気代高騰は消費にも影響するので、必要な時に必要な分しか購入しない。プロパーでは買わず値引きセールにまとめ買いする傾向になるのではないかと。
		嶺南	飲食関連	物価や光熱費がまた上がっていくとしたら料理なども値上げしていかななくてはならず、また外出や外食を控える人が出るかもしれないため。
		嶺南	観光関係	先行予約も堅調で、なによりもインバウンドが好調。宿泊客の3割を超え、売上の主軸ほどになってきた。
	企業動向	坂井	繊維関連	海外含めた市場の状況が不透明な部分があるため。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、半導体不足などによる部品供給問題やウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が暫く続く見通し。
		奥越	電気機械関連	受注増加の見込みが立っていない。
		丹南	電気機械関連	米中デカップリング、ウクライナ情勢など世界経済における見通しが不透明であるため。
		福井	化学・プラスチック関連	電気料金の値上げや原材料価格の高騰による価格転嫁が十分に進まないなど、圧迫した状況が続くと懸念される。
		福井	運輸関連	変動要因が見当たらない。
	雇用	丹南	労働相談員	労働相談からの推測は難しいが、労働側が声を上げる内容が多くなってきた。このことから労働環境が良くなっていると感じ、同時に景気も回復していくのではないかと推測する。
		福井	就職情報誌	個人店(特に飲食店)では仕入コスト高、電気代高騰などで広告費を控える状況が多く見られるため。
	④やや悪くなる	家計動向	福井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	ふく割などの喚起材料が大幅減少し、電気料金の値上げなど不安要素から消費は低迷している。特に制限が解除になり、コト消費へとニーズは変更しつつあり、一般生活用品にはお金を投資しなくなっている。しばらくはこの傾向が続くと思う。
丹南			百貨店、SC等	物価高や電気代の値上げ時期の決定等から、今後家計への負担が増すことや消費の促進につながるような要因が乏しく、上向きにはまだ時間がかかりそうだと感じるから。
坂井			スーパー	引き続き日常生活の部分は節約志向だと思われる。今後家庭の電気代も上がるということで節約志向は強まるのではないかと。
嶺南			飲食関連	電気代をはじめ、家庭を圧迫する、値上げが相次いでいるので、嗜好品の消費は落ち込む可能性が高いと考えている。
⑤悪くなる	企業動向	福井	商社	円安になっており、輸入品となる石油製品は高騰する。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)